

活動記録書

開催日：平成30年10月4日(木) 天候 曇り	開催テーマ：鎌倉探訪 六観音巡り
開催場所：西御門・大町	記入者：瀬川 健次
参加人数：会員 男 26名 女 6名 計 32名	
ビジター 男 0名 女 0名 計 0名	
合計	32名
<p>実地内容（実施の項目、方法、効果、成果、宿題 など）</p> <p>コース：杉本観音バス停（集合）→杉本寺（昇堂）→来迎寺（昇堂）→宝戒寺（昇堂）→婦人子供会館（昼食）→教恩寺（昇堂）→別願寺→安養院（解散）</p> <p>杉本観音バス停よりスタート。3班に分かれ鎌倉ガイド協会の方々に案内していただく。杉本寺は坂東三十三観音霊場第一番札所でもある。文治五年（1189）の出火で伽藍は焼失したが三体の観音様は自力で庭の大杉のもとに避難したことで、人々が「杉の本の観音」と呼ぶようになったと「吾妻鏡」は伝えている。</p> <p>本堂には運慶作とされるもの等の多くの仏像がある。また後方の山には杉本城があった。</p> <p>来迎寺は鎌倉三十三観音霊場第五番札所。鎌倉で最も美しいといわれている如意輪観音像を拝観し皆で感動すると共にその美しさにみとれた。創建は永仁元年（1293）で一向上人の開山である。</p> <p>宝戒寺は鎌倉三十三観音霊場第二番札所。鎌倉八幡宮近くの道を通り萩寺として親しまれている宝戒寺がある。今年は24号の台風の塩害によりほとんどの萩の木が傷んで、白い花が少しばかり咲いていた。毘沙門天像の手前に准胝が祀られている。</p> <p>昼食は婦人子供会館をお借りして休憩をした。</p> <p>近くの教恩寺より午後のスタート。教恩寺は鎌倉三十三観音霊場第十二番札所。聖観音は厨子の中に安置されていて、六道では地獄道の衆生を救済すると位置つけされている。創建は延宝六年（1678）で比較的新しい。</p> <p>別願寺は鎌倉三十三観音霊場第十三番札所。魚籃観音が祀られている。お寺さんのご厚意で寺内に入ることができ、近くでたいへん珍しい仏像を拝観できた。</p> <p>また、境内には「永享の乱」を起こした足利持氏のものでされる供養塔がある。</p> <p>最後に鎌倉大町の安養院を拝観した。鎌倉三十三観音霊場第三番札所。本尊の阿弥陀如来坐像の背後に札所本尊の千手観音立像が安置されている。千手観音立像は10世紀末に涸然という僧が宋から持ち帰った観音立像で、主に餓鬼道を救済する菩薩として位置つけされる。</p>	
<p>参加者の状況・意見など</p> <p>前日の天気予報では午後雨とのことで心配したが、傘もいらず32名が無事終了することが出来た。</p>	
<p>次回の予定</p> <p>11月1日(木) 湘南モノレール・湘南町屋駅 10時集合 「晩秋の深沢の里を訪ねる」</p>	